

2020 年度特集号「計量的言語データ分析と日本語教育」への 投稿論文募集のお知らせ

計量国語学会では、2016 年度より特集号の刊行を始めました。2019 年度特集号「実時間データを用いた言語変化研究」に続き、2020 年度特集号への投稿を下記の通り募集いたします。

特集号タイトル 計量的言語データ分析と日本語教育

趣旨

伝統的に「経験と勘」が重んじられていた日本語教育の世界でも、データに基づく教育の必要性が強く意識されるようになってきた。学習者の学びの指針となるのは、教科書・辞書・テストであるが、データと計量という視点を導入することで、これらについても見直せる点が多い。大規模なコーパスから得られた頻度データがあれば、各種の教授項目を量的に精選したり、あるいはそれらを新規に構造化したりすることが可能になるだろう。また、母語話者の直観だけに頼って教えてきた語の用法や文型が果たす機能・役割についても、データを根拠として従前の定説を検証したり、従前においては見落とされていた新たな言語事実の発見につなげたりすることができる。さらに、母語話者だけでなく、学習者の言語産出を集めた学習者コーパスを解析すれば、日本語学習者に共通する誤りの傾向を特定し、有効な対策を講じられる可能性もあろう。こうした幅広い可能性を念頭に置きつつ、本誌は「計量的言語データ分析と日本語教育」という特集を組むこととした。本特集では以下のような論文を一般投稿として募集する。

- (1) 計量的言語データ分析に基づく日本語の教授・評価に関する研究
- (2) 計量的言語データ分析に基づく日本語の教材等（教科書・辞書・テスト等）に関する研究
- (3) 日本語教育の観点から見た計量的言語データ分析の位置付けや方法論に関する研究

スケジュール

2018 年 12 月 20 日 投稿受付開始

2019 年 12 月 31 日 投稿受付終了（2020 年 3 月 31 日ではありません。ご注意ください）

2020 年 9 月下旬 32 巻 6 号に掲載

（査読で改稿に時間を要した場合、次号以降の掲載になることがあります）

特集号原稿投稿宛先

submission@math-ling.org

通常の投稿先と同じです。投稿時に特集号への応募であることを明記してください。特集号への投稿についても一般の投稿と同じように査読を行います。今回の投稿カテゴリーは、「論文A」「論文B」「研究ノート」「研究資料」「書評・文献紹介」のいずれかとなります。

投稿と同時に当学会に入会することができます。その場合は、学会事務局にもメールでご一報ください。事務局のアドレスは、office@math-ling.org です。